

株主・機関投資家との対話の実施状況（2024年3月期）

（1）株主との対話の主な対応者

代表取締役2名、取締役、IR担当取締役の出席の元、通期および中間決算説明会をオンラインで開催し、主に機関投資家向けに中期経営方針の説明会への社外取締役の出席や、2024年問題に対する説明会および施設見学会を開催しました。

証券会社が主催する海外機関投資家IRフェアおよび名古屋証券取引所主催の個人投資家向けIRフェアへの参加、および株主・機関投資家との個別IR面談（オンライン）では、ほぼすべての対話において、IR担当取締役が対応をしました。

（2）対話を行った株主の概要

居住地別の内訳は国内136件／海外19件（のべ件数）であり、担当分野別では、ファンドマネージャー18名、アナリスト78名です。

**居住地、担当分野、および人数につきましては、ご本人様／アレンジャー様等から案内いただいたお役職／肩書などの情報に基づいて集計しております。またオンライン面談において、同席／参加された方などは人数に含めておりません。*

（3）対話の主なテーマや株主の関心事項

株価、ROE、資本政策・配当、事業計画の進捗、市場環境、新規事業、事業の成長戦略、業界動向が挙げられます。

（4）フィードバックの実施状況

質疑応答録やよくあるご質問、関心事項については、適宜、役員連絡会や事業会議、事業担当役員または部署と共有しています。

（5）その他

決算情報の漏洩を防ぐため、当社が定めるサイレント期間中は、決算等に関するコメントを差し控えることから、投資家・株主様との対話は原則行いません。

一方で、サイレント期間中であっても、業績に影響を及ぼす決定事実や発生事実が生じた場合は速やかに適時開示を実施いたします。